

1. なぜ探究か？ ～課題研究の目的～

1. イン트로ダクション

突然ですが、これは何を表す数字でしょうか？

日本	アメリカ	イギリス	ドイツ	フランス	韓国	中国	全世界
89,607	320,698	78,701	68,972	48,831	26,818	136,559	1,255,477

答えは探究
の授業で！

世界はまだ無数の「未知」であふれています！

これからの時代には

自ら考え行動できる 新しい考え方ができる 課題を理解し解決する

「探究」する力が求められます！

2020年～新型コロナウイルスによる社会の変化を誰が予想できたろう？

なぜ、世界は混乱したのだろうか？

1つ考えられるのは・・・今までの「常識」が通用しなかったこと

新型コロナウイルスについてグループでディスカッションしてみましょう！

- コロナウイルスは何故恐ろしかったのでしょうか？
- 自分だったらどういう対策やしきみをつくりませんか？
- 生活はどうなってしまうのでしょうか？

飯山高校で探究活動・課題研究を通して身に付けたい“力”

(1) 課題発見力

答えのない問、誰も調べたことがない謎、何より自分が解き明かしたいことが見つけれられる

(2) 課題設定力

目的を達成するために取得すべきデータを認識できる力

(3) 課題解決力

・情報活用力

- ・データ収集力 適切な方法で情報収集ができる
- ・論理的思考力 (logical thinking) 集めた情報から根拠を示しながら、考察できる
- ・批判的思考力 (critical thinking) 時に常識を疑い、得られた情報から客観的な分析ができる

・計画力

目標を明確にし、見通しをもった活動計画が立てられる

・協働力

自分と異なる意見を尊重できる。互いの個性を理解し、それぞれが任された役割の中でリーダーシップを発揮できる

(4) 情報発信力

興味を引く発表ができ、相手に伝わりやすい説明ができる

論点を整理し、具体的かつ客観的なデータをもとにしたプレゼンテーションや文章表現にする能力を獲得したい。英語での発表にもチャレンジし、課題研究の成果を世界に発信しよう。



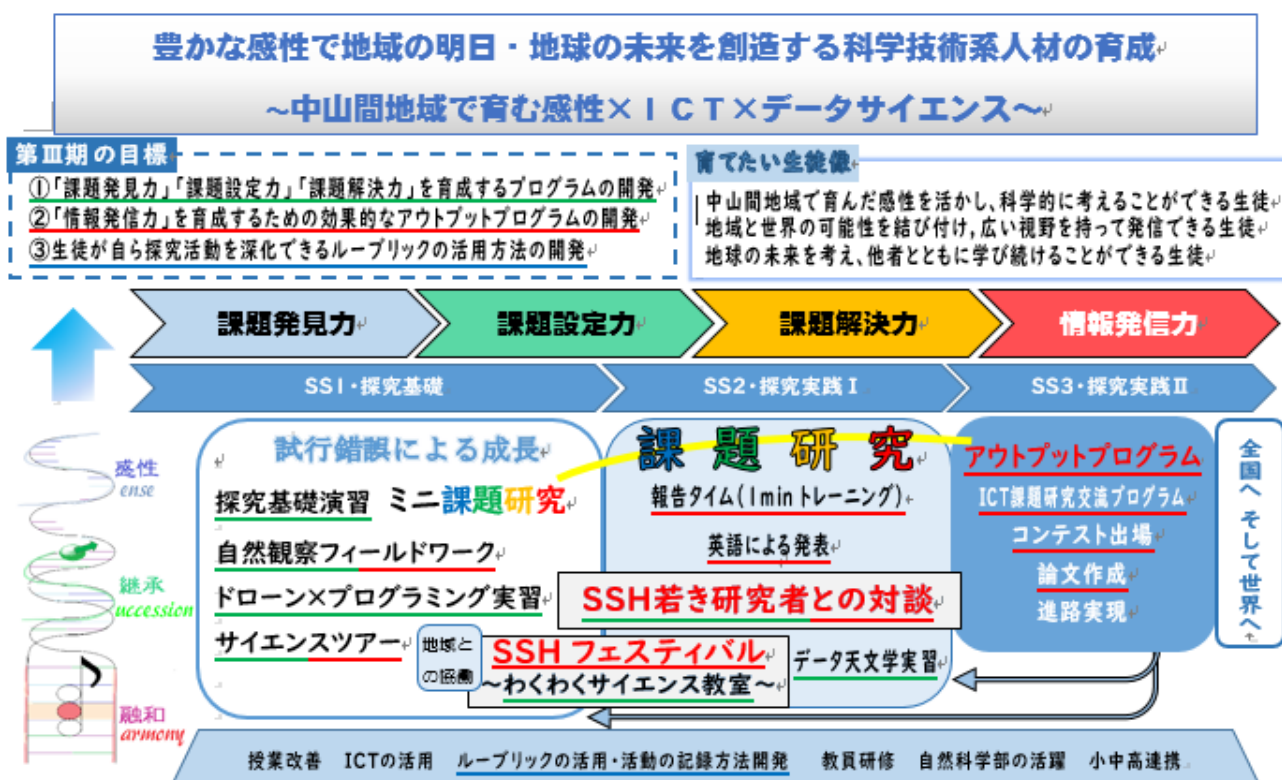
- ◇ 「なぜ？」という素朴な疑問を大事にしよう
- ◇ 「こうかもしれない！」と予想することから道筋が見えてくる
- ◇ 「これはおもしろい！」と仲間と探究の過程を楽しみながら創造的に学ぼう
- ◇ 「これはいける！」と自分の考えを積極的に発信し、地域や世界とつながろう

課題研究はどうでしたか？

ゴールが広すぎたので、最初は仮説も立てられなかった。話し合いと先生方からの助言でクリアしていった。みんなで同じ方向を向いたのは、夏休み終わって10月、11月くらい。方向性が決まらなかった。違う実験（人工便作製）やってた。5ヶ月くらいで実験を完成させた。2月に発表会があって、そこで発表できた。4月（3年生になって）ポスターにまとめはじめた。

課題研究の経験は何か役に立ちそうですか？

- ◎入学したい大学に災害復興のための研究所がある。 今度は一人で研究しようと思っている。そこで研究できたらいいなと思っている。KRさん（知的好奇心・研究心）
- ◎思ったことをすぐ行動に移しちゃう。結果のことを考えずにやってしまう性格。こういうことをするためにはこういう結果が必要でこういうことをやらなきゃいけないということを学んだので今後の生活で生かしていきたい。SNさん（課題設定力）
- ◎課題を見つけてそれに向けて研究をする過程を経験して、課題を発見する力がついた。これから何でもいきてくると思う。そういうのは生かしていきたいと思いますし、ポスターや論文を作る上で相手にわかりやすく伝えることを意識した。相手の気持ちを考えることを学んだ。見えない相手と話すときに、主語が変わる。人間の幅が広がったと思います。KNさん（課題発見力・表現力）

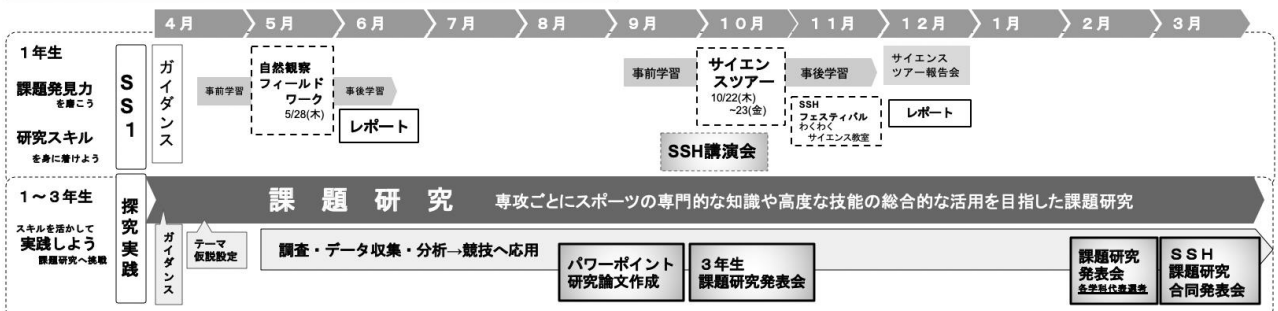
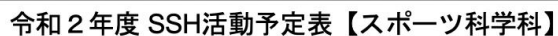
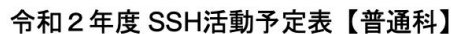


共通認識

- ・育成すべき「資質・能力」を明確化→ルーブリックの作成、評価と指導の一体化
- ・探究はそれらを高めるために行う手段の一つ
- ・探究の授業だけ探究的に学んでいても力はつかない→全ての授業を探究的に！
→授業発展自己診断票の活用

探究活動には全校・学年全体・学科単位で参加するイベントがあります。様々な活動をより良いものにするために、3年間の流れを大まかに知っておきましょう。

課題研究	外部連携
------	------



3. ルーブリックを用いた自己評価

探究の授業では、様々な活動の中で、みなさんは自分自身のことを評価します。その時使うのが「ルーブリック」という評価基準を示した表です。自分の活動を振り返り、自分のことを客観的に評価できるようになると成果や課題が明確になり、次の活動に繋げることができます。自己の成長を自分自身で体感しながら活動していくのが探究の授業です。

(1) 行動変容診断 (科学的リテラシーに係る意識調査)

							①肯定度					②変容+		
	観点	当てはまらない	あまり当てはまらない	どちらともいえない	だいたいあてはまる	当てはまる	第Ⅲ期 平均	1年 11期生	2年 10期生	3年 9期生	既卒 8期生	1年 11期生	2年 10期生	3年 9期生
		1	2	3	4	5								
生きて働く知識・技能	興味関心	(1)科学(理科・数学を含む)に興味がある					79%	80%	87%	77%	73%	25%	39%	27%
		(2)実験や観察、調査、研究に取り組みたい					80%	86%	87%	72%		29%	34%	29%
	数理活用能力	(3)考えを整理する時に、適切なグラフや表を使ってデータ(数値)を比較している					75%	60%	79%	75%	86%	18%	41%	39%
	情報収集能力	(4)何かを調べる時「複数」の情報源(複数のサイトや本・新聞)から情報を得ている					92%	85%	94%	91%	98%	25%	41%	27%
	知識活用能力	(5)科学の学習は、人や社会に役立つと思う					90%	85%	94%	94%	88%	22%	28%	24%
		(6)科学の学習は、自分の将来の可能性を広げると思う					82%	80%	91%	88%	69%	22%	29%	23%
未知の状況に対応できる 思考力・判断力・表現力	課題発見能力	(7)自分なりの仮説を考えたり課題を設定している					79%	66%	89%	88%	73%	18%	38%	35%
	課題設定能力	(8)仮説を実証するために「取得すべきデータ」や「行うべき実験」は何かを考えている					79%	66%	86%	85%	78%	26%	41%	35%
	課題解決能力	(9)情報を鵜呑みにせず、主張に根拠があるか(証拠となるデータがあるか)を疑って見ている					87%	80%	89%	80%	98%	36%	35%	37%
	協働能力	(10)異なる意見を比較・整理して、他者と対話・協力して取り組んでいる					90%	83%	83%	94%	100%	16%	29%	27%
	表現力	(11)資料を作成する時、考えや発表内容をグラフ・図表・絵などを用いて表現している					82%	72%	81%	89%	86%	16%	20%	35%
学びに向かう力・社会参画力	情報発信能力	(12)発表会やグループワークで、積極的に成果を発表したいと思う(発表している)					56%	66%	63%	62%	35%	33%	30%	60%
	自己分析能力	(13)自己を分析し、自分の生き方や進路を考えている					78%	66%	86%	74%	88%	17%	32%	44%
	社会参画能力	(14)科学の学習を地域や社会での活動に活かしたいと思う(活かしている)					65%	68%	73%	60%	61%	28%	45%	38%
	国際性	(15)国際的な交流(外国の人との交流や英語での発表など)に参加したいと思う(参加している)					50%	46%	57%	43%	53%	20%	29%	35%

①肯定度＝5または4と回答した生徒の割合 ②変容＋＝変容値*がプラスになった生徒の割合

「変容値＝2022年5月の評価値－2021年5月の評価値」と定義。各生徒の全15項目の変容値を算出
1年生の2021年5月の評価値については、1年前(中学生の時)の自分をイメージして回答してもらった。

(2) 飯山高校探究活動ルーブリック

		AA	A 本校の目標水準	B	C
1	課題発見力	○これまでに例がない(先行研究がない)独創的な課題を設定した。	○目的(ねらい)と目標(ゴール)を明確にした。 ○先行研究や背景を踏まえており、科学的または社会的な研究意義を説明することができた。 ○課題を自分事として捉え、必要感を持っている。	○研究の目的または目標が明確でなかった。 ○自分なりの問題意識に根ざした課題を設定したが、科学的・社会的な研究意義がわからない。	○先行研究を踏まえていない。 ○他者に頼って課題を設定した。
		A			
		B	B		
2	課題設定力	○取得したデータや情報を反映させて、課題を新たに設定して研究した。	○仮説の根拠が明確で説明できる。 ○目的を達成するため、仮説を実証するために取得すべきデータや情報を明確化した上で、調査や実験の方法を考えた。	○仮説の根拠が不十分。 ○研究計画(調査や実験の方法)を立てて取り組んだが、どのような情報やデータを取得すべきかが明確でなかった。	○場当たりに実験や調査に取り組んだ。 ○仮説や調査の目的が不明確である。
		A			
		B	B		
3	情報活用能力	○データ収集の際、同じ方法での実験・調査を繰り返すだけでなく、異なる方法で検証を行うことで、結論の信頼性を高めた。	○自分で実験や調査を行い、多面的で多くの情報を取得した。 ○複数の実験や出典に基づき、データや情報の信頼性を検討した。 ○データや情報を適切な方法(データの変換、グラフ化、図式化など)によって、整理・比較して、差の有無や内容の正しさを判断した。	○複数の情報源や異なる見解を参照しながら、より客観的に情報を収集した。 ○情報を比較し、類似点や相違点をまとめ、規則性や傾向などを見いだした。	○実験回数が1回、取得した情報が1つなど情報数が不十分である。 ○インターネット等からの情報の妥当性を吟味しなかった。
		A			
		B	B		
4	協働能力	○異なる視野からの発想や意見や対立する考えを調整して探究を進めた。	○お互いが正しいか常に考えて議論(相手の意見を理解し、自分の意見を主張)を繰り返し、研究を推進することができた。	○異なる考えを受け入れる意識を持つことができた。 ○実験や調査、発表の時に、チームで協力できた。	○協力できず、他者に任せきりになった。
		A			
		B	B		
5	情報発信力	○独自の図や表、アイコンタクトなど非言語表現を活用。 ○質疑応答にも自信を持って対処できた。	○適切な表現方法(図、グラフ、表など)を用いてまとめることができた。 ○発表原稿にほとんど頼らず、スライドを指し示し、わかりやすく発信できた。 ○質問にも概ね対応できた。	○図、グラフ、表などを作成したが、不適切な点があった。 ○発表原稿を読んでいることが多い。 ○質問に的確に対応できないことがあった。	○図や表が少なく、文章での表現が多い。 ○発表原稿を読むだけの発表だった。
		A			
		B	B		

飯山高校で3年間を通して身に付けたい“力”

課題発見力	自分なりの問題意識に根ざした課題を発見することができる力	
課題設定力	目的を達成するために必要な情報を認識できる力	
課題解決力	計画力	実験や調査など検証方法を設計する力
	情報活用能力	多面的で多くの情報を適切な方法で取得し、整理、比較し、差の有無や内容の正しさが判断できる力
	協働能力	チームで協力して様々な視点からの発想や意見を調整する力
情報発信力	適切な表現方法を用いて発表する力	

memo

探究実践 課題研究 2年 組 番 氏名 【 科学探究科 】

「興味のタネ」を見つけ、「探究の根」をじっくりと伸ばし、「表現の花」を咲かせましょう。

原則 3～5 人のグループで研究する。（自然科学探究科は理系の研究でなければならない）

- ① 答えのわかっていない問題（テーマ）に挑戦する。（先生も答えを知らない）
- ② 仮説をたてる
- ③ 方法を考える（実験をデザインする）
- ④ 自ら実験や調査→データ収集
- ⑤ データをまとめ・分析する（グラフ、相関係数、検定）（結果）
- ⑥ パワーポイントや論文にまとめて発表する。

研究してみたい分野を 2 つ選んでください。第一希望◎ 第二希望○

国語	英語	地理	歴史	公民	家庭科	音楽	美術	体育
生物	化学	物理	地学	数学	情報	建築	法律	その他

（＊グループワークの参考にするだけです）

探究実践担当の先生のお話からヒントを得る（4/18(月)）

課題発見する

第1回 4月18日(月) 第2回 4月25日(月)

①「気になること」（キーワード、やってみたいテーマ）をできるだけたくさん書く！

（情報源の例）友人や先生などいろいろな人との会話、飯山高校課題研究集録、ふだんの授業、教科書
図書館 インターネットサイト SNS 新聞・雑誌 過去の経験

キーワード	気になっていること
例 マイクロプラスチック	脳にも到達するってうわさあるけど本当？何でマイクロになるの？
例 リングの台風被害	落果したリング もったいない 何かに使えないか？

* キーワードはグループワークの時に、使います。出来るだけ多く用意しておきましょう！

②先行研究を調べる！ 先行研究を参考にキーワードを考える。

- ・探究科課題研究集録（飯山高校探究科の研究）
- ・わたしの見つけた ふしぎな世界（長野県学生科学賞入賞作品の論文）など（5～6 p も参考に）

最低2つは調べましょう！

テーマ	
概要	
未 解 明 の課題	

③先生や友達に見てもらいディスカッションしよう！→助言をメモ

【4月25日(月)生物準備室前の BOX に提出】

テーマ設定のヒント

(1)先輩たちの論文(冊子)を生物室で読む (HR 教室にも何冊か配布しました)

飯山高校探究科課題研究集録 (3年次に執筆)飯山高校探究科の研究論文が読める。

SSH 生徒研究発表会要旨集 (3年次に飯山高校から代表1チームが出場)

全国のスーパーサイエンスハイスクールが参加する SSH 生徒研究発表会の要旨集。詳しい内容が書かれているわけではないが、ハイレベルな研究の概要を知ることができる。

わたしの見つけた ふしぎな世界 (長野県学生科学賞作品展覧会報告書) ★1冊ずつしかない

長野県学生科学賞で入賞した研究論文(小中高)が掲載されています。

(2)日本の科学者の論文をインターネットで調べる キーワードを入力してみよう!

CiNii Articles 日本の論文をさがす <http://ci.nii.ac.jp/>

学協会誌や研究紀要など膨大な論文情報の中から、目的の論文や書籍を探すことができる。CiNii PDF-オープンアクセスからそのまま論文が表示されるもの、あるいは機関リポジトリや外部の学会などにある本文が PDF で閲覧できるものがある(一部有料)。J-STAGE にもリンクされている。

J-STAGE <https://www.jstage.jst.go.jp/browse/-char/ja/>学会誌に投稿された論文を閲覧

(3)高校生の論文をインターネットで読む (研究予算を自ら獲得しよう!)

飯山市高校生チャレンジ活動支援事業 (6月に審査あり)

「飯山市高校生チャレンジ」で検索! 飯山市公式ホームページに過去の報告事例あり。

「飯山のオリジナルフレグランスを作ろう!」(2020年度)

「飯山の特産品および温泉由来の入浴剤開発」(2019年度)

「飯山精進だしの開発～地元野菜を使っただし作り～」(2018年度)

「飯山の民宿で宿泊体験ツアーを作る」(2018年度)

「長野県学校科学教育奨励基金」 (5月締切)

「SBC 学校科学大賞」で検索! <https://sbc21.co.jp/gakkokagaku/>



リンクから論文をダウンロード(本校の例)

2021年度 大賞「バイオトイレの開発」

2016年度 奨励賞

「ターコイズフリンジをISSでとらえる」

2015年度

「飯山市静間観音堂の算額」

「松川河川床における鉄の沈着について」

(4) SDGs からテーマを考える

「拡大版 sdgs アクションプラン 2019」SDGs 推進本部

<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/sdgs/dai7/siryou1.pdf>

「SDGs 関連動画」外務省 HP <https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/about/index.html>

ユニセフ（169のターゲットがまとめられている） <https://www.unicef.or.jp/sdgs/target.html>

学校のための持続可能な開発目標（わかりやすい） <https://www.unicef.or.jp/kodomo/sdgs/>

国連開発計画（UNDP）駐日代表事務所 <https://www.jp.undp.org/content/tokyo/ja/home/sustainable-development-goals.html>

SDGs(持続可能な開発目標)とは何か？17の目標をわかりやすく解説 | 日本の取り組み事例あり

<https://miraimedia.asahi.com/sdgs-description/>

(5) コンテスト・大会を目指す

探究科は課題研究の成果をいかしてコンテストに参加し、毎年全国入賞を果たしています。

以下は毎年、探究科生徒が参加している主なコンテストです。

課題研究合同研修会(全国高等学校総合文化祭県予選)(12月)

信州サイエンスミーティング(3月) 長野県内の高校生による課題研究発表会

バスに乗ってみんなでいきます！自然科学部は最優秀賞（1位）に選ばれと全国大会に出場できます。飯山高校は H28～H30 全国大会出場（H30 は全国大会 4 位奨励賞）、H30～R2 北信越大会出場

CMA 中高生のための英語プレゼンコンテスト

飯山高校は、令和元年度第2回大会で「全国銅賞」を受賞。令和2年度第3回大会は、全国入賞は逃したものの、中部・北信越ブロック代表に個人部門で2名、チーム部門で4チームが選ばれました！

「CMA 英語」で検索！大会の様子の動画もアップされています。



(4) 長野県学生科学賞(3年生8月)

長野県学生科学賞は論文（ポスター）が審査されます。研究成果を論文にまとめるステップは最終段階ですので、例年3年生が応募していますが、1、2年生の時からチャレンジすることも可能です。1位（県知事賞）、2位（県議会賞）、3位（県教育委員会賞）は全国大会である日本学生科学賞に参加できます。

8期生(R3年度)は県知事賞(1位)を受賞



(5) SSH生徒研究発表会(3年生8月)

全国SSH指定校と海外招聘校が対象。

飯山高校から代表1チームが参加します。

7期生(R2年度)は県内で最多の受賞！



課題研究テーマ一覧 → 詳しくは「飯山高校 探究科 課題研究集録」を読もう！

2019年度（7期生）

2年探究科 2019年度テーマ一覧	飯山城址とその周辺の変遷
現代社会に適応した近代文学教材の開発	英語力UPへの第一歩 ～飯山市の小学生編～
YOUは何しに飯山へ	宿泊施設における外国人観光客対応の課題と考察
飯山の特産品および温泉由来の入浴剤開発	北信方言「～しない？」の意味・用法の変化
自然由来の消毒	カメムシと人間のいい関係を築く
水から水素を取り出す	カルシウムとヨーグルト
身近なもので電池を作る	ダンゴムシに記憶力はあるのか
音が植物の生育に及ぼす影響	他者監視が及ぼすストレス
壁の表面形状と防音の関係	五感で感じるストレスと癒し
栄村界地区周辺におけるモバイル通信環境について	柱を安定させるには
水の温度変化	腹筋を鍛えてパフォーマンスにいかす

2018年度（6期生）

1	マイクロ波による加熱
2	ISSの色変化から探る大気の性質
3	植物の繁殖抑制方法の開発
4	屋根の形状の移り変わりと特性
5	肉の柔らかさに関する研究
6	ハミガキ粉って本当に効果あるの？
7	身近なヒルの研究と医療への活用に向けて
8	キハダの活用
9	癒しと動物とデザインと
10	植物の抗菌効果の比較と応用
11	二元一次不定方程式の整数解の規則性とそれを用いた解法の考
12	長距離走における接地方法の違いが及ぼす影響について
13	千曲川の水質調査
14	難民救済プロジェクト
15	ライオン法と保持時間の関連性
16	焼いた石の色の变化
17	体験型民宿ツアーを作る
18	アメリカザリガニの繁殖域拡大について
19	方言で地方創生
20	重いバットと軽いバットによるスイングスピードと打球飛距離
21	体の軸とスピードの関係

2017年度（5期生）

1	高校生の進路に関する研究
2	飯山の植物から酵母
3	りんごの褐変に関する研究
4	若者移住～高校生が提案するまちづくり～
5	ダンゴムシの走触性と負の走光性の関係について
6	色と集中力の関係
7	野菜のえぐみを取り除く
8	高校生の進路に関する研究
9	「保養」について
10	朝食が及ぼす健康と運動への影響
11	チャップミゴケの生態
12	善光寺地震に関する古文書の解読
13	飯山市の地震防災を考える
14	過冷却とIKK効果に関する研究
15	飯山から発信！抹茶sweets
16	観光客の視点から考える地域活性化
17	飯山の米はなぜおいしいのか
18	マグネシウム電池に関する研究
19	植物再生のメカニズム
20	土で色をつくる
21	植物粉末の燃料

2016年度（4期生）

1	音発電
2	植物起源の粉末燃料を考える
3	低コストで造る木造建築 ～制震構造～
4	ブラナリアの再生
5	正座による痺れとSpO2の関係
6	トリメチルアミンの消臭メカニズム
7	軟水と硬水とたんぱく質
8	せっけんの効果
9	リン酸が与える植物への影響
10	有毒植物の防虫効果の利用に向けて
11	熊の油の治癒に関する研究
12	リモネンのある高校生活（リモネンによる体温と集中力の関係）
13	ターコイズフリンジをISSでとらえる
14	暗号に潜むオイラー関数
15	低カロリーロールパン
16	スポーツドリンクと運動
17	寺の町 飯山と和菓子屋
18	JK目線で考える市民参画による協働のまちづくり
19	いいやまプロモーションプロジェクト

2021年度（8期生）

分野	研究テーマ
化学	食材由来の線香開発
化学	飯山のオリジナルフレグランスを作ろう
社会	公正世界信念が及ぼす影響
生物	配色による印象の違い
生物	昆虫食の可能性と将来性
化学	災害と食
数学	だまし絵の3次元化
数学	トロツコの未来
数学	生活にプログラミングを
生物	生態系に害を為す外来生物をおいしく食べる
生物	コーヒーの出しがらを再利用しよう
生物	アリの行動研究
生物	メダカの色認識と行動
生物	植物の成長にエチレングスが及ぼす影響とその活用
生物	簡易的なバイオトイレを作る
化学	最強のマスクを作る
化学	野沢温泉における温泉結晶の製法とその関係性
化学	生ごみからメタンガスを発生させる
物理	壁の形状と防音2
物理	イヤホンの絡まり方の法則
物理	圧力発電とその可能性

飯山高校の入賞一覧→詳しくは「わたしの見つけたふしぎな世界」を読もう！

長野県学生科学賞にける受賞一覧					
年度	探究科	賞	出品作品名	分野	その他の受賞
2021	8期生	県知事賞	バイオトイレの開発に向けて	生物	SBC学校科学大賞【大賞】
2021	8期生	入選	落果したリンゴから放出されるエチレンを活用した植物成長促進	生物	
2021	8期生	入選	マスクの厚さによる性能の変化	化学	県予選(化学)優秀賞 北信越研究奨励賞
2021	8期生	入選	メダカの色認識と行動	生物	
2021	8期生	入選	だまし絵の3次元化	建築	
2021	8期生	入選	昆虫食の可能性と将来性	生物	
2020	7期生	奨励賞	ISS出没时间の色変化の原因を探る	地学	県予選(地学)優秀賞 北信越研究奨励賞
2020	7期生	優良賞	栄村塚地区におけるモバイル通信環境について	物理	
2020	7期生	入選	壁の表面形状と防音の関係	物理	
2020	7期生	優良賞	ダンゴムシに記憶力はあるのか	生物	
2020	7期生	入選	500Hzと2000Hzの音が植物の生育に及ぼす影響	生物	
2019	6期生	入選	二元一次不定方程式の整数解の規則性とそれを用いた解法の考察	数学	
2019	6期生	入選	ISSの色変化から探る大気の性質	地学	地球惑星科学奨励賞
2019	6期生	県教育委員会賞	豪雪地帯における屋根の形状の移り変わりと特性	建築	CMA銅賞【全国4位】
2019	6期生	入選	ハミガキ粉って本当に効果あるの？	化学	
2019	6期生	優良賞	植物の抗菌効果の比較と応用	生物	
2018	5期生	入選	飯山市の地震防災を考える	地学	全国総文祭出場
2018	5期生	入選	植物再生のメカニズム	生物	
2018	5期生	入選	ダンゴムシの走触性と負の走光性の関係について	生物	
2017	4期生	入選	正座による痺れと SpO_2 の関係	生物	
2017	4期生	入選	トリメチルアミンの消臭メカニズム	化学	
2017	4期生	入選	ターコイズフリンジをISSでとらえる	地学	県予選(地学)最優秀賞 北信越優秀賞 総文祭奨励賞【全国4位】 SBC学校科学大賞奨励賞
2017	4期生		オイラー余関数の評価式について	数学	日本数学コンクール銀賞 【全国2位】
2016	3期生	入選	酸性雨が植物に与える影響	生物	
2016	3期生	県知事賞	松川における鉄分沈殿の化学的メカニズムの解明	化学	県予選(総合・化学)最優秀賞 全国総文祭出場 SSHポスター賞
2016	3期生	入選	雪国の建築構造と免震性	建築	県予選(物理)最優秀賞 全国総文祭出場
2016	3期生	入選	おばあちゃんの智慧袋<熊の油>	化学	
2016	3期生		飯山市静観観音堂の算学の復元	数学	算学コンクール奨励賞

